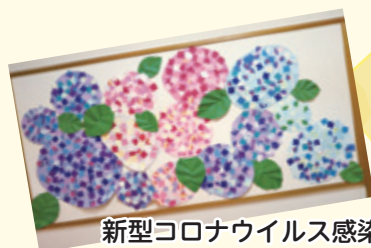




編集・発行 湘南希望の郷
〒252-0825 藤沢市瀬郷 1003
TEL0466-48-4500

Index

- 創作活動をしました P1
- 腰痛軽減の介助・私のお母さん P2
- せせらぎ会・希望のバトン P3
- 行事予定・編集後記 P4



創作活動

素敵な物をいっぱい作りました

新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言も解除され街中の人も増えてきました。しかし、希望の郷の住人さんは、新しい生活様式に合わせ感染予防のためお部屋で過ごすことが多くなっています。なので、せっかくのその時間、制作活動を楽しんでいるんです。



リビングのプログラムでは「季節を感じる」をテーマに、アジサイの花を制作しました。折り紙や色付けした点字用紙をハサミで切る人、切った紙を張り付ける人など、それぞれ担当する係を決めて、制作に臨みました。掲示板には鮮やかなアジサイが咲きほこり、元気で個性あふれるアマビエたちとともに、ジメジメした梅雨を吹き飛ばすような賑わいになりました。



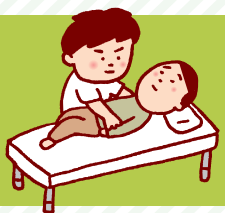
一日も早く元の生活に戻って欲しいという願いを込めて、今、疫病を鎮める妖怪とされ注目されているアマビエの塗り絵をして掲示板に貼りだしました。塗り絵をしながら、「ショッピングに行って洋服を買って、美味しいものを食べたい。」「ソフトクリーム食べに行きたいな。」「プロ野球、はやく始まらないかな。」「家族に会いたいな。」などの思いを巡らせながら、皆さん色鮮やかに塗っていきました。

出来上がった作品は、疫病退散の大きな文字を中心にその周りに住人さんに手伝ってもらいながら貼りだしました。皆さん足を止めて、これは誰が塗ったのかと見入っていました。早く新型コロナウイルスが終息して、笑い声が響き渡る希望の郷になるといいですね。



アマビエとは、肥後国（現・熊本県）の夜ごとに海に光るものがあり、土地の役人がおもむいたところ、アマビエと名乗るものが出現し、役人に対して「当年より6ヶ年の間は諸国で豊作がつづく。しかし同時に疫病が流行するから、私の姿を描き写した絵を人々に早々に見せよ。」と予言めいたことを告げ、海の中へと帰って行ったとされています。描かれた姿はロングヘアの人魚のようであり、口はクチバシ状で目や耳はひし形をしています。

腰痛軽減 での介助



障がいのある方の支援には、お風呂に入れる、おむつを交換する、車いすやベッドに移り移るなどなどありますが、どの介助にもつきものなのが、「重い」「介助をしたときに、腰が、、、(泣)」「腱鞘炎になってしまった」という言葉です。湘南希望の郷職員の数年前の調査でも「腰痛はあまり無い」と答えた人はわずか数名でした。

ところで、厚生労働省は、腰痛対策として、男性は自身の体重の40%、女性はその60%、簡単に計算すると、男性は24キロ、女性は13キロ以

上は、自力では持ち上げないという指針を出しています。

「ノーリフト」は聞きなれない言葉ですが、正式名称は「ノーリフティングケア(抱え上げない、持ち上げないという意味)」です。簡単に説明すると、持ち上げないためには、その方の持っている最大限の身体機能を介助側が引き出して、それでは足りない部分は器具を使ったり、やり方を工夫したりする方法です。

その中でも、重みを感じずに被介助者の位置を変えることが出来るスライディングシートをご紹介します。生地はパラシュートの素材でできているので、軽くて丈夫で滑りやすいのが特徴です。2枚重ねる(折って使います)と摩擦が少ないので上に乗っている方は驚くほどよく滑ります。



ベッドの下の方に寝ている方(①)の足を曲げてモモの下から手を入れて動かすとあっという間に(②)上方にひきあげることができます。ベッドの手前で寝ている人(③)をちょっと奥の方に押すだけで、反対側に体をずらす(④)ことが出来ます。敷いたシートはベッド側になっている一枚を引っ張ると、シュルシュルと面白いように引き出すことが出来ます(⑤)。

実は、使っていくと、自分と相手の重心の位置を考えて動かすと更に楽になります。道具を使うときにも、お相手の体の状態を知っていることはとても大切だということです。

「職員さん」おうちに帰れば「お母さん」

このコロナ禍で、職員さん自身の生活にも気遣いが感じられます。もちろんその背景には家族もあり、小さいお子さんを持つ方などは、衛生面だけに限らず学校の休校問題など、今までにない大変さを感じていると思います。今回は子供さんの目から見た「お母さん」取材させていただきました。理療担当丸山職員のおうちでは「お母さん」どんな感じでしょう。

私のお母さん

小学六年 丸山 湖珀

私のお母さんはとてもやさしいです。毎日毎日、家事をしたり私や弟のめんどうを見てくれているからです。

それに健康の事でも心配してくれて「体に悪いから早く寝てね。」と言ってくれます。失敗したり何かできなかつたりすると、「大丈夫。次はできるよ。」と元気づけてくれます。

お母さんは朝早くから夜遅くまで働いているので、家に帰ったらとても疲れています。家でもやるのがたくさんあるので大変そうです。

そんな中でも私と弟の学校の出来事や楽しかった事を聞いてくれます。その時間がとてもうれしいです。

私はそんなお母さんが大切な存在で、とても大好きです。

自分の体を大切にして長生きしてほしいです。なのでお母さんが疲れすぎ

て、たお

れないよ

うにでき

るだけ手

伝いたい

です。



せせらぎ会だより

雨音はショパンの調べ 濃紫陽花 (生)

6月13日。天気予報は終日、傘マークを提示。案の定、暗雲たどよう空模様は、たちまち絵に描いたような梅雨空に変幻。その日は、そのまま関東地方の梅雨入り宣言になりました。

冒頭、月並みな俳句を詠んだ。同日、東京アラートの赤色灯が消されて、非常事態宣言全面解除に向けた自粛要請が大幅に緩和されました。しかし、これで新型コロナウイルスとの闘いが終息した訳ではありません。京都大学・中山伸弥教授の提言はまさに箴言です。「対策はこれからが本番。賢い行動を粘り強く続けよう」。

提言1「自分を、周囲の大切な人を、そして社会を守ろう」

1. 人と人との接触を減らす「専門家会議は10の具体的な項目をあげました。これらの項目を賢く、粘り強く遵守すれば、ウイルスは力を失います。日

本人の規律の高さを示す時です」。

2. 社会を支える方々への敬意と感謝「皆が感染におびえる中でも、医療・福祉、流通、公共交通など多くの方々に、社会を支えて頂いています。これらの方々への感謝の気持ちと、これらの方々を守るためにも、人と人との接触をできうる限り減らさなければなりません」。

3. 感染した方への思いやり「誰にでも感染は起こり得ます。1、2年後には半分くらいの日本人が感染している可能性もあります。感染した人への偏見や差別は無意味です」。

4. 休業を余儀なくされる方々への支援「飲食店、芸術家など多くの方々が休業を余儀なくされています。社会を守るため犠牲になって頂いています。国や自治体からの支援に加えて、自分でできる支援を行いたいと思います」。(山中伸弥教授による新型コロナウイルス情報発信)より抜粋。

7月(文月)。夏本番を前にして、恒例の風物詩の開催も予見が付きません。郷では、もう暫く我慢の日々が続きそうです。皆様。暑さ厳しき折、くれぐれも御自愛ください。 文責:自治会(K.I)



希

望

の

バ

ト

ン

ン

あつという間の25年

藤沢南地域福祉部 藤の実学園
田邊 行洋

皆さんお久しぶりです。

「田邊です」知らない方もいらっしゃるかと思いますので自己紹介をさせていただきます。私が光友会に入職して早いもので25年が経過致しました。20歳の頃の私を知っている方も大分少なくなってしまった様に感じます。

私が光友会の職員として長い間勤めてこられたのは「良き出会い」が沢山あった事が全てだと思っています。その中でも希望の郷での20年は本当に充実した毎日でした。家族のように優しく接して下さった利用者の方々、なんでも言い合える良き同僚、多くのミスをして寛大に受け止めて下さった上司。振り返ると本当に人との出会いに恵まれたと実感しております。私は自分の長所が「人を笑わせ・笑顔に出来ること」だと思っています。

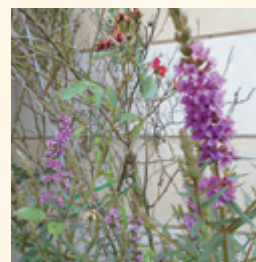
これからも多くの人を笑顔に出来るよう、楽しみながら頑張っていきますので今後とも宜しくお願い致します。

「次回の職員へのバトン」は藤沢南地域福祉部障害福祉センターひかり日中一時預かり米永職員へバトンタッチします！

みそはぎ

濃いマゼンダピンクの花が茎の先端に穂になって咲き出しました。

毎年夏中このかわいらしい花が見られるこのみそはぎには、お盆の迎え火を焚くとき周りにこの花で水を撒くという役目(風習)があるそうです。



いつもお掃除に来てくれる "株式会社ダスキン" に行ってきました

大規模改修後にきれいになった居室を維持する為に始まった“株式会社ダスキン”（以下：ダスキンに省略）によるお掃除。そんなダスキンの会社にご挨拶に行ったことがあります。お掃除のプロともあって、自社のエントランスにビックリ。曇り一つない洗練されたエントランスに感動の一言。向かい入れてくれた社員の応待（接遇）、お掃除に来てくれる方々の卓越された技、誰が来ても質が落ちることがないお掃除から、

社員の育成・研修の充実の素晴らしさが伺えます。ダスキンの経営理念の一つに、「自分に対しては、損と得とあらば、損の道をゆくこと」という言葉があります。全ては、お客様が喜ぶために、そんな思いでお掃除に来てくれると方々に感謝の一言しかありません。（岩永）



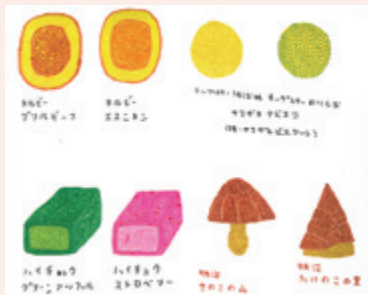
献立委員会



6月1日は湘南希望の郷34周年目の開所記念日です。昼食にお祝い膳を用意しました。アナゴに鮭、シイタケにインゲン、錦糸卵の五目御飯の押しずしに、大ぶりの海老天を主役に、そしてデザートにはメロンといったいつもの食事とは違う華やかな献立で、一緒にお祝い事を楽しんでいただきました。押しずしは初めて（？）「盛り付けがキレイ！」と評判は上々でしたし、大きな海老にも熟した甘いメロンにもたくさんの感想を寄せていただきました。行事食やお祝い事の食事って、献立からも十分に感じ取っていただけるものですね。大切な役目を感じました。



福井さんのお菓子



福井康仁さんは、美術プログラムで水性ペンを使ってお菓子の絵を描いています。数ある作品の中から、厳選して神奈川県身体障害施設協会の作品展示に出展しました。「かわいくて目を引きました」、「個性が出ていて好きです」など沢山のコメントをいただきました。

雑巾ありがとう ございました



沢山の雑巾のご寄贈をいただき、有り難うございました。皆様の応援に心から感謝いたします。施設の衛生管理に使用させていただきます。

◆7月の予定◆

健康課より

藤沢病院 石井Dr.来診

2日(木)

厚誠会歯科検診

7日(火) 14日(火)
21日(火) 28日(火)

御所見病院 安田Dr.来診

8日(水) 22日(水)

三井眼科来診

30日(木)



編集後記

6月を迎え、大幅な気温の上昇が見られるようになりましたね。近頃はマスクをしたり、換気をしたりと、暑さから逃げられない日常へと変化しています。体温管理が重要視されますが、エアコンの冷房をつけたまま寝てしまうと、私のように風邪を拗らせそうですので気を付けましょう。

7月になれば平塚七夕まつりで、焼きそばとかフランクフルトとかじゃがバターとか食べ歩く予定でしたが、このご時世なので祭り自体ないので1年ほど我慢ですな。（苦笑）（T・S）